

令和6年度埼玉県特別支援教育研究会 第3回理事研究協議会

埼玉県立総合教育センターの 取組について

令和6年11月29日(金)

県立総合教育センター特別支援教育担当

主任指導主事 森澤 由希

1 総合教育センター主催の 研修について

1 総合教育センター主催の研修について

年次研修

特別支援学校初任者研修

特別支援学校5年経験者研修

特別支援学校中堅教諭等資質向上研修

1 総合教育センター主催の研修について

特定研修

特別支援学校新担当教員研修会

特別支援学級新担当教員研修会〔本採用者対象〕

通級指導教室新担当教員研修会

多様な生徒に寄り添う・支えるコーディネーター研修会〔高校基礎〕
〔高校実践〕

特別支援教育コーディネーター研修会〔幼小中コース〕

特別支援教育コーディネーター研修会〔特別支援学校基礎コース〕

特別支援学級新担当教員育成研修会〔臨時的任用者対象〕

1 総合教育センター主催の研修について

専門研修

特別支援教育研修～教員がつながるTひろば～

※今年度より20年経験者研修の研修内容として読替
可能に



1 総合教育センター主催の研修について

- ・参加しやすい研修スタイル
- ・移動等にかかる負担軽減



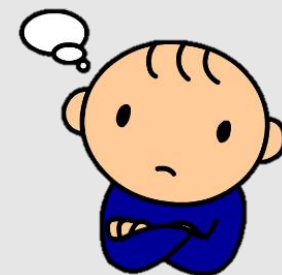
非集合型の研修
オンライン型の研修
オンデマンド型の研修



1 総合教育センター主催の研修について

今後の研修について

- ・ 新指標(埼玉県校長及び教員としての資質向上に関する指標)に基づく研修の実施
- ・ 「新たな教職員の学び」(研修観の転換)



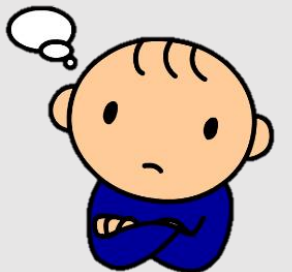
「埼玉県 校長及び教員としての資質向上に関する指標」

		埼玉県 校長及び教員としての資質向上に関する指標					校長（管理職）
記号	教諭	採用前	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	第4ステージ	校長は、生徒等の豊かな学びを充実させるため、学び続ける教職員を育成する等、教育課題に対して適切に対処するための学校組織を構築する。 副校長・教頭は、校長の補佐役として、これまでの豊富な経験を生かして教職員への指導・支援を行う等、広い視野で学校経営に資する専門性を発揮する。
		養成期	基盤形成・協力期	充実・推進期	深化・中核期	発展・後進育成期	
★	キャリアステージ	● 常に自己研鑽に努め、主体的・自律的に学ぶ		● 教育公務員としての使命を自覚し、高い倫理観と児童生徒への教育的愛情を持つ		● 豊かな人間性、コミュニケーション力、人権意識、幅広い教養や視野を持ち、家庭や地域など誰とでも協働する	
		A	学運 校営	<p>本県の教育振興基本計画等や国の答申等を踏まえた教育、学校及び教職の意義や社会的役割・職務等を理解するとともに、国内外の変化に合わせて常に学び続ける姿勢がある。</p> <p>学校組織の一員として、他者と協働して環境活動に取り組むために必要な社会的スキルを身に付ける。</p>	<p>【学校組織マネジメント】 学年、校務分掌、委員会等について、担当業務の責任を自覚し、管理職や同僚への報告・連絡・相談を行いながら、自己の役割を適切に果たす。</p> <p>【学校安全】 マニュアルを踏まえて危険を予測し、事故発生時には適切に行動する。</p> <p>【外部連携】 学校組織の一員として、自らの役割を認識し、家庭・地域等との連携の意義を理解し、適切に連携・協力する。</p>	<p>【学校組織マネジメント】 学校組織マネジメントの意義を理解した上で、学年、校務分掌、委員会等の諸会議等において、学校全体の運営を意図しながら、改善に向けた提案を行う等、意図的に取り組む。</p> <p>【学校安全】 危機管理の知識や視点で、学校事故防止等の効果的な事前指導や環境整備に努め、事故発生時には適切に行動する。</p> <p>【外部連携】 学校の強み、弱みを理解し、家庭・地域等との連携を組織的観点から検討するとともに、効果的な取組を見つけていく。</p>	<p>【学校組織マネジメント】 学校組織マネジメントの意義を理解した上で、各組織の課題に機能を集約させよう。学年、校務分掌、委員会等の諸会議等において、合意形成を図りながら円滑に運営する。</p> <p>【学校安全】 危機管理の知識や視点から、教育活動全般を振り返り課題に気づくとともに、他の教職員と連携しマニュアル等を見直しにも積極的に関わる。</p> <p>【外部連携】 的確に学校課題を解決するために、家庭・地域等との連携を深め、連携計画に基づき、計画の実行に取り組む。</p>
B	学指 習導			<p>教科に関連した学問的知識や専門的技術を磨き、教育要領・学習指導要領の目標を理解し、指導に生かすことができる。</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」の重要性を理解し、授業等の目標と指導の展開を踏まえた学習指導案等を作成することができる。</p>	<p>【指導計画・カリキュラムマネジメント】 学習指導要領に基づき、教科等の目標を達成するため、地域、生徒等の実態を踏まえ、指導計画を検討・作成する。</p> <p>【「主体的・対話的で深い学び」の実現】 教科等の指導に関する専門性をより高めるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善・授業実践を行う。</p> <p>【学習評価・授業改善】 評価規準や評価方法に基づき、生徒等一人一人の学習状況の把握や、適切なフィードバックを行い、内容の確かな定着を図るとともに、自らの教育実践を振り返り、授業改善を行う。</p>	<p>【指導計画・カリキュラム・マネジメント】 学習指導要領、教材、指導方法、評価等について理解を深め、教科の実践や生徒等の発達段階等を踏まえて指導計画を作成する。</p> <p>【「主体的・対話的で深い学び」の実現】 教科等の指導に関する専門性をより高めるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善・授業実践を行う。</p> <p>【学習評価・授業改善】 「指導と評価の一体化」の観点から、多様な評価方法を用いて生徒等の学びの深まりを把握し、学習状況の的確な評価を行うとともに、他の教職員と協働した授業研究等も踏まえ、自らの教育実践を振り返り、適切な授業改善を行う。</p>	<p>【指導計画・カリキュラム・マネジメント】 生徒等の発達の段階等を踏まえ、カリキュラム・マネジメントの視点による指導計画の作成を、教科等の中心と行う。</p> <p>【「主体的・対話的で深い学び」の実現】 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた実践を行い、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に努め、学習者中心の授業を創造し、効果的な指導方法を校内外に広める。</p> <p>【学習評価・授業改善】 「指導と評価の一体化」の実践を踏まえ、評価規準や評価方法等について組織の中心として研究を深めるとともに、他の教職員の授業を積極的に参観し、研究協議等を通じた明確化や分析により授業改善を推進する。</p>
		C	生指 徒導	<p>生徒等一人一人の実態把握の必要性を理解し、個性を認める姿勢を培うとともに、その置かれている背景について理解を深め、適切な指導法を身に付ける。</p> <p>生徒等の理解における集団の特性及び学級経営に関する基本的な知識を身に付ける。</p>	<p>【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達の過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の人格を重んじながら計画的に学級経営を行う。</p> <p>【教育相談】 教育相談の意義や理論を理解し、基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。</p> <p>【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握し、様々な問題行動に対してその背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。</p> <p>【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の意義を理解し、生徒等が自分らしい生き方を實現するための力を育成する。</p>	<p>【学級経営】 学級内で望ましい人間関係を育むことで互いに支え合い、それぞれの可能性や活躍の場を引き出す学級経営を行う。</p> <p>【教育相談】 教育相談に係る校内委員会や関係機関等と連携し、公平かつ受容的・共感的な態度で生徒等と関わり、より深い信頼関係を築く。</p> <p>【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握し、様々な問題行動に対してその背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。</p> <p>【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通じて、生徒等が自分らしい生き方を實現するための力を育成する。</p>	<p>【学級経営】 他の教職員とともに学級、学年等で、生徒等一人一人の自立を促し、相互に認め合い、高め合う学級経営等について指導・助言を行う。</p> <p>【教育相談】 教育相談に係る校内委員会や関係機関等と連携し、生徒等の理解に基づき関わり方について、校内で積極的な指導・助言を行う。</p> <p>【生徒等の問題行動への対応】 組織的観点を持ち、生徒等の問題行動の背景や原因を多面的にとらえ、適切に解決するため学年等で共通理解を深めながら、取組を実施する。</p> <p>【キャリア教育】 地域・社会や産業界と連携し、学校の教育活動全体でキャリア教育や進路指導を推進する。</p>
D	特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応			<p>特別な配慮や支援を必要とする生徒等に関する基本的な知識や考え方を身に付け、その特性や教育的ニーズを踏まえ、一人一人に応じた支援を行う。</p> <p>ユニバーサルデザインの視点を意識した環境づくりを行う。</p>	<p>【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援を必要とする生徒等に関する基本的な知識や考え方を身に付け、その特性や教育的ニーズを踏まえ、一人一人に応じた支援を行う。</p> <p>ユニバーサルデザインの視点を意識した環境づくりを行う。</p>	<p>【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援を必要とする生徒等の特性に応じた理解を深めるとともに、多様性を認め共に成長する集団づくりに他の教職員と協働して取り組む。</p> <p>教科・学年等と連携し、効果的な指導法の情報発信を行い、校内で共有・活用する。</p>	<p>【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援を必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において組織的な組織づくりを推進する。</p> <p>生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。</p>
		E	ICTや情報・教育データの活用	<p>教育活動におけるICT機器の基本的な活用方法を理解する。</p>	<p>【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの具体的な活用方法及び特性を把握し、ICT機器を活用する。</p>	<p>【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTが効果的に活用できる場面を把握し、得られた情報を適切かつ効果的に活用する。</p>	<p>【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、生徒等にICT機器を適切に活用させることができ、また、学校の中心となり活用を推進する。</p>

1 総合教育センター主催の研修について

今後の研修について

- ・ 新指標(埼玉県校長及び教員としての資質向上に関する指標)に基づく研修の実施
- ・ 「新たな教職員の学び」(研修観の転換)



1 総合教育センター主催の研修について

これからの時代には、日本社会に根差したウェルビーイングについて考察しつつ、**教師自らが問いを立て実践を積み重ね、振り返り、次につなげていく探究的な学びを、研修実施者及び教師自らがデザインしていくことが必要になる。**

『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～
「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団
の形成～(答申)令和4年12月19日中央教育審議会

1 総合教育センター主催の研修について

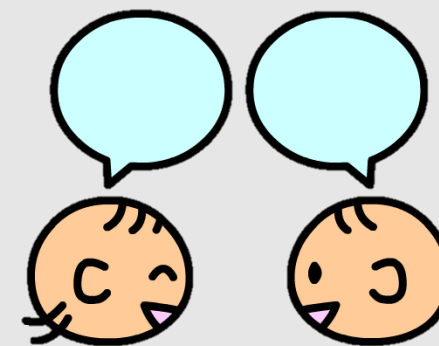
【グループ対話】

今まで受けてきた研修の中で・・・

○最も良かったと思う研修

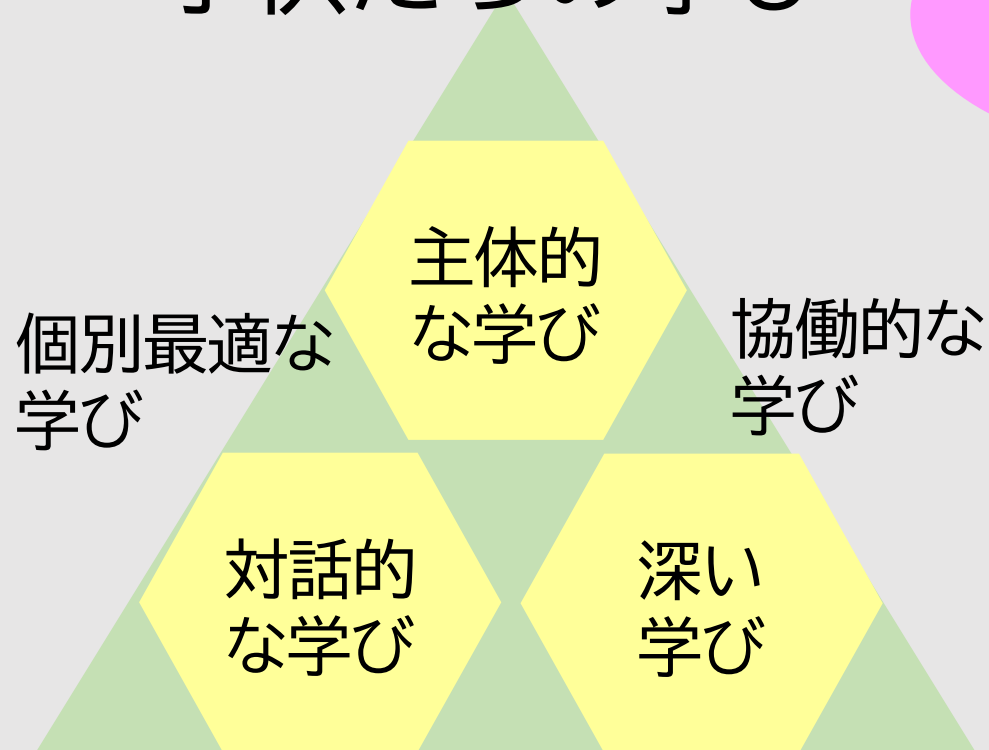
○イマイチだったと思う研修

どうしてそう思うか？



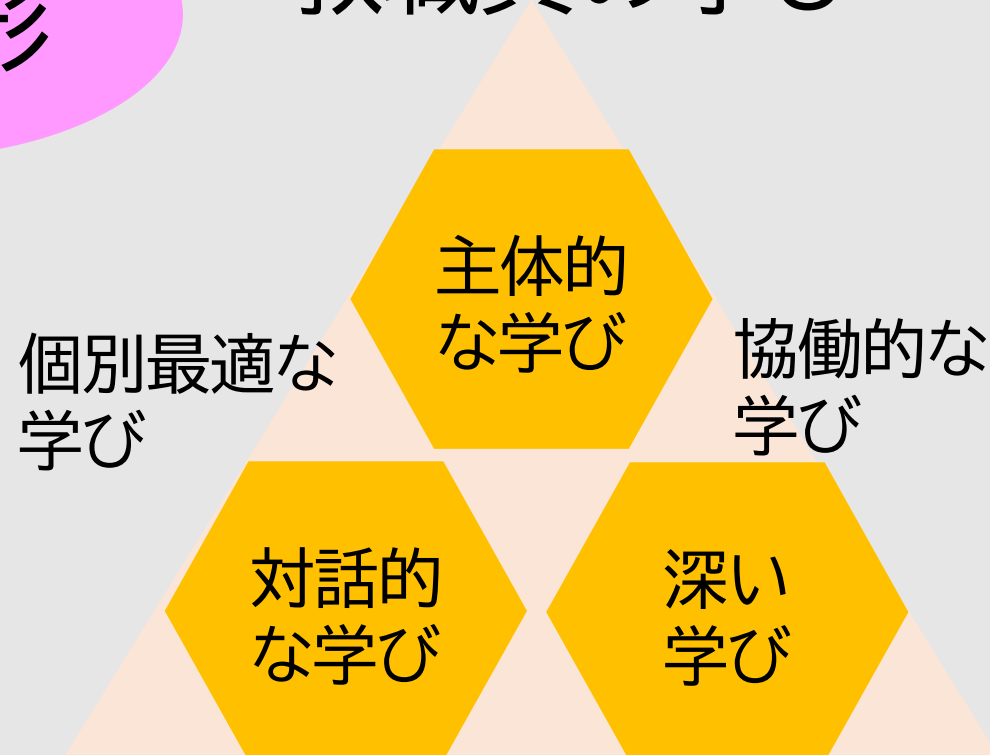
1 総合教育センター主催の研修について

子供たちの学び



相似形

教職員の学び



1 総合教育センター主催の研修について

教職員の「主体的・対話的で深い学び」
の実現のために・・・

「探究的な学び」をデザイン

2 調査研究について



2 調査研究について

令和5年度～6年度

特別支援教育コーディネーターの
連携と協働に関する調査研究



2 調査研究について

【研究の概要】

研究主題の設定理由

「特別支援教育コーディネーターについて」の現場の声

- 「特別支援教育コーディネーターがどんな活動をしているのか知らない…」
- 「特別支援教育について知識がなく、特別支援教育コーディネーターにどのような対応が求められるのか不安」
- 「特別支援教育コーディネーターに指名されたけど、自信がない…」
- 「特別支援教育コーディネーターの研修が少ない…」

課題

特別支援教育
コーディネーターの
育成・理解

特別支援教育の推進のために
特別支援教育コーディネーターの果たす役割は大きい

2 調査研究について

【研究の概要】

研究の目的

- (1) 特別支援教育コーディネーターにおける現状と課題を把握する。
- (2) 現状と課題をもとに解決につながる好事例を掲載したハンブックスを作成する。
- (3) 特別支援教育コーディネーターに携わる教員及び管理職に向けて、手軽に活用できるハンドブックを作成し広く発信する。

2 調査研究について

【研究の概要】

研究の方法

- (1) 先行事例として他県の特別支援教育コーディネーターに関する資料及び文献を分析する。
- (2) 特別支援教育コーディネーターの活動内容等についてアンケートをとり、現状を把握する。
- (3) 研究協力委員会で、先行事例やアンケートを基にハンドブック作成に向けた項目を選定する。
- (4) 研究協力委員との協議及びアンケートを基に年間活動計画(全校種)の一覧表を作成する。
- (5) 研究協力委員の協力のもと、課題を解決する糸口となるような好事例を収集する。

2 調査研究について

研究の全体像

令和5年度

1年次

研究主題：特別支援教育コーディネーターの連携と協働に関する調査研究

○アンケート調査（6月～8月）

・小・中学校・高等学校・特別支援学校の管理職・特別支援教育コーディネーターを対象にアンケート実施

○先行事例の分析

・他県の特別支援教育コーディネーターに関する資料の分析



○アンケート結果から現状と課題の整理 ○年間の活動計画の分析
○ハンドブック作成に向けた項目の選択 ○実践事例の収集

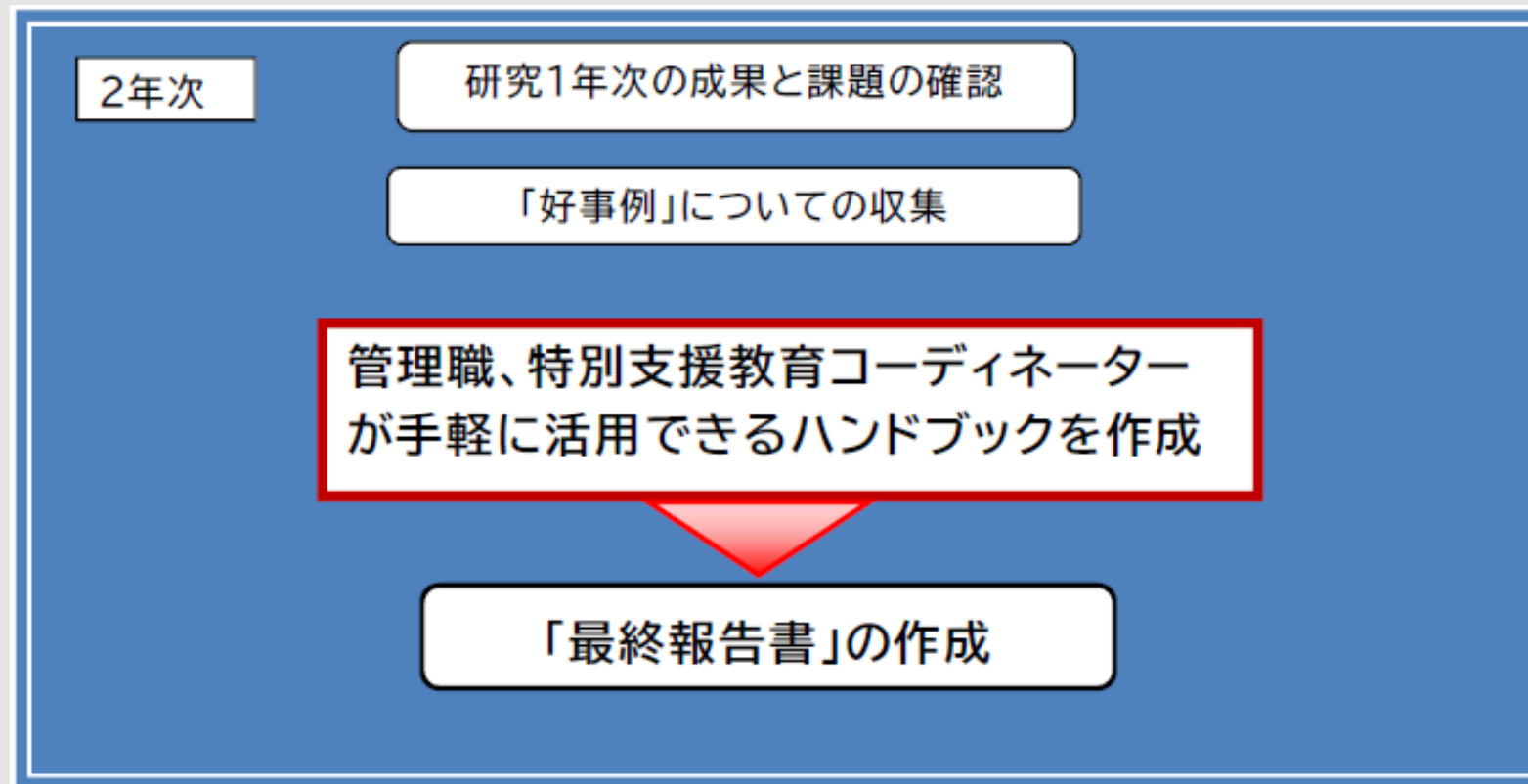
特別支援教育コーディネーター
の課題の解決に向けた実践例

「中間報告書」の作成

2 調査研究について

研究の全体像

令和6年度



2 調査研究について

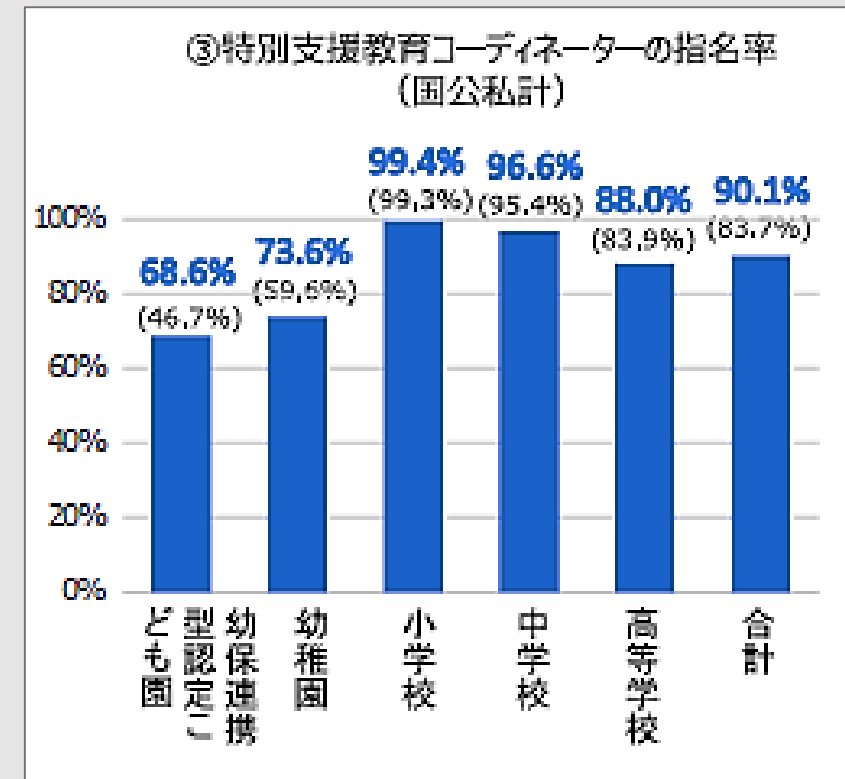
調査研究協力委員

- 小学校 3名
- 中学校 2名
- 高等学校 3名
- 特別支援学校 3名
- スーパーバイザー 1名
- 教育局(特別支援教育課 1名、ICT教育推進課 1名)
- 事務局(総セ教職員研修担当 1名、特支担当 1名)

2 調査研究について

<特別支援教育コーディネーターの現状>

- 国の動向
- 県の動向
- 先行研究の分析
 - ・大学の論文
 - ・研究紀要
 - ・他県のハンドブック



2 調査研究について

< 先行研究 > 特別支援教育コーディネータハンドブックの分析

(8県1市)

- ・作成年度
- ・総ページ数
- ・構成、共通項目の分析
- ・特色

	R3 P57	R4 P14	R4 P39	8県1市 精選項目
	【表紙裏】 <input type="checkbox"/> 特コ年間の仕事(例) 【総論】 <input type="checkbox"/> 特別支援教育とは <input type="checkbox"/> チームとして学校全体で行う特別な支援 <input type="checkbox"/> 学校内で教育支援体制の構築・運営 <input type="checkbox"/> 特コの役割と求められる資質 【学校内の役割】 <input type="checkbox"/> 学校内の関係者との連絡調整 <input type="checkbox"/> 校内委員会の役割 <input type="checkbox"/> 各学級担任への支援 <input type="checkbox"/> 通級指導教室との連携 <input type="checkbox"/> 交流及び共同学習	I 特別支援教育コーディネーターの役割 II 特別支援教育コーディネーターの具体的な業務 (1) 校内の連絡の推進 ① 児童生徒の実態把握 ② 校内委員会の開催 ③ 保護者との連携 ④ ケース会議の開催 ⑤ 研修の実施 ⑥ 個別の教育支援計画 ⑦ 個別の指導計画 ⑧ 校内支援体制の構築 ⑨ 評価と校内での引継ぎ ⑩ 中学校卒業後に向けた進路指導 ⑪ 通常の学級担任と通級による指導担当教員	I 特別支援教育コーディネーターの役割 1 特別支援教育コーディネーターに求められる役割 2 地域のセンター的機能について 3 特別支援教育コーディネーターとして身につけたい力 II 幼児児童生徒の実態を把握する力 1 定型発達段階の理解 2 障害特性の理解 3 気になる子どもを見る視点 III コンサルテーションの力 1 学校コンサルテーションを推進する 2 コンサルタントとしての役割 3 巡回相談	【全県共通】 <input type="checkbox"/> 特別支援教育 CO の役割 <input type="checkbox"/> 校内委員会の役割 <input type="checkbox"/> 教育関係機関との連携 <input type="checkbox"/> 個別の教育支援計画 <input type="checkbox"/> 引用・参考文献 <input type="checkbox"/> 県内相談機関 <input type="checkbox"/> 保護者との連携 <input type="checkbox"/> 特別支援学校間の連携による支援 【8割程度共通】 <input type="checkbox"/> 特別支援教育とは <input type="checkbox"/> 特別な支援が必要な子どもの実態把握 <input type="checkbox"/> 業務の推進スケジュール(例) <input type="checkbox"/> 校内研修の実施 <input type="checkbox"/> ケース会議 <input type="checkbox"/> 評価と引き継ぎ

2 調査研究について

<現状把握>

特別支援教育コーディネーターの活動内容等に関するアンケート調査
対象

- ア 小学校特別支援教育コーディネーター
- イ 中学校特別支援教育コーディネーター
- ウ 高等学校特別支援教育コーディネーター
- エ 特別支援学校特別支援教育コーディネーター
- オ 管理職(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校)

2 調査研究について

「特別支援教育コーディネーターの連携と協働に関する調査研究」アンケート

◇アンケート内容【教職員用】

- ・教職経験年数
- ・特別支援教育コーディネーター経験年数
- ・特別支援教育コーディネーターの活動内容(選択・複数回答可)
- ・【校内連携】特別支援教育コーディネーターが連携を図っている方(選択・複数回答可)
- ・【校外連携】特別支援教育コーディネーターが連携を図っている方(選択・複数回答可)
- ・特別支援教育コーディネーターとして困っていること、不安なこと(記述)

2 調査研究について

「特別支援教育コーディネーターの連携と協働に関する調査研究」アンケート

◇アンケート内容【管理職用】

- ・校種
- ・現職年数
- ・特別支援教育コーディネーターの任命に関する内容
- ・校内支援体制に関する内容
- ・外部連携について

2 調査研究について

「特別支援教育コーディネーターの連携と協働に関する調査研究」アンケート回答(一部)

未経験(見込) (130名)			1年 (50名)			2年 (74名)			全体		
No	項目	回答率%	No	項目	回答率%	No	項目	回答率%	No	項目	回答率%
1	専門性・専門知識不足	65% (84)	1	専門性・専門知識不足	66% (33)	1	専門性・専門知識不足	56.8% (42)	1	専門性・専門知識不足	56.10%
2	通常学級の児童生徒の実態把握	36% (47)	2	通常学級での特別支援教育に対する意識向上	38% (19)	2	特別支援教育コーディネーターと担任の兼務による時間の捻出	47.3% (35)	2	特別支援教育コーディネーターと担任の兼務による時間の捻出	45%
3	通常学級での特別支援教育に対する意識向上	35% (46)	3	特別支援教育コーディネーターと担任の兼務による時間の捻出	34% (17)	3	支援の継続性	36.5% (27)	3	通常学級での特別支援教育に対する意識向上	38.50%
4	校内での位置づけが不明確	31% (40)	4	通常学級の児童生徒の実態把握	32% (16)	4	通常学級での特別支援教育に対する意識向上	32.4% (24)	4	通常学級の児童生徒の実態把握	34.90%
5	問題が起きたときの連携体制	25% (32)	5	支援の継続性	28% (14)	4	通常学級の児童生徒の実態把握	32.4% (24)	5	支援の継続性	32.50%
6	支援の継続性	24% (31)	6	保護者の、特別支援教育コーディネーター業務の理解が不足	22% (11)	5	校内での位置づけが不明確	29.7% (22)	6	校内での位置づけが不明確	25.70%
7	就学転学に係る相談	21% (27)	7	校内での位置づけが不明確	20% (10)	5	就学転学に係る相談	29.7% (22)	7	就学転学に係る相談	23.10%
7	保護者の、特別支援教育コーディネーター業務の理解が不足	21% (27)	7	就学転学に係る相談	20% (10)	6	問題が起きたときの連携体制	24.3% (18)	8	問題が起きたときの連携体制	22.50%
							保護者の、特別支援教育コー				

2 調査研究について

<デジタルハンドブックの作成>

作成の目的

- (1) 本ハンドブックを開発することで、手軽に特別支援教育コーディネーターの活動内容や専門用語を知ることができ、特別支援教育コーディネーターの資質の向上を図ること。
- (2) 本ハンドブックには、特別支援教育コーディネーターが校内外で連携をとりながら、特別支援教育を推進するための好事例を掲載することで、特別支援教育コーディネーターの連携と協働につなげる。
- (3) 特別支援教育コーディネーターの役割を明確にして、誰もが特別支援教育コーディネーターについて理解すること。

2 調査研究について

< デジタルハンドブックの項目 >

- 初級編
- 中級編
- 実践事例
- 参考・Q&A
- 管理職



2 調査研究について

◆初級編

①特別支援教育コーディネーターの役割

各項目は 1 概要

2 役割または手順

3 ポイント

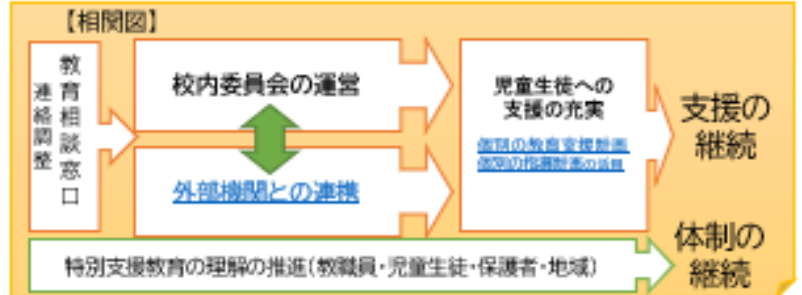
3点についてまとめ、図解を多く用いることで、わかりやすくなるよう工夫

※ この項目を実行していく上で大切なポイントを掲載

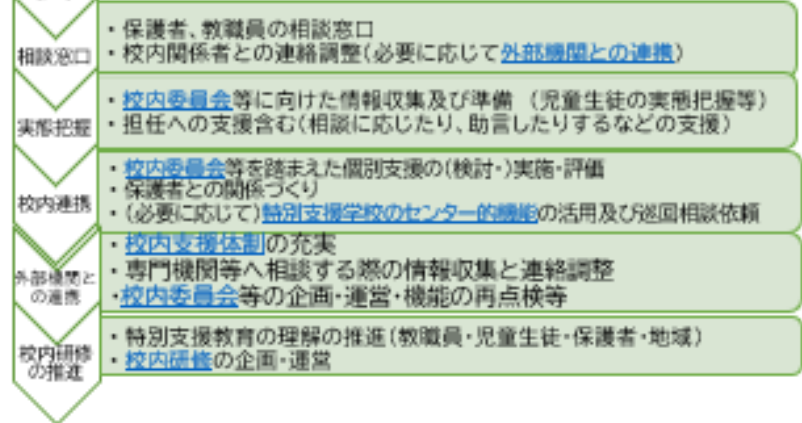
1-① 特別支援教育コーディネーターの役割

1 概要

特別支援教育コーディネーターは、学校内の関係者や外部の関係機関との連絡調整役、保護者や教職員に対する相談窓口、校内委員会の運営や特別支援教育の理解の推進役といった役割を担っています。



2 役割



3 ポイント



特別支援教育コーディネーターの役割は、「つなげる」がキーワードです。「どこへどのように」つなぐのかを考えることがポイントです。

2 調査研究について

◆実践事例

- ① 効率的な業務の実践例
- ② 校内研修実践例
- ③ 校内連携について
- ④ 校内支援委員会・ケース会議の連動
- ⑤ 巡回相談
- ⑥ 外部機関との連携した校内支援



2 調査研究について

<デジタルハンドブック>

「見やすい」「分かりやすい」「使いやすい」

<今後について>

12月 第5回調査研究協力委員会

1月～2月 最終報告書作成・まとめ

3月 所内報告、ホームページ掲載

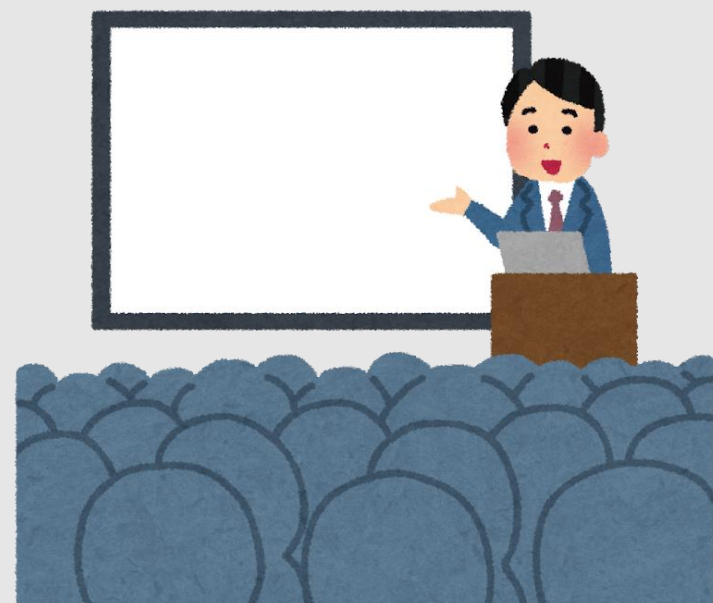
3 要請研修について



3 要請研修について

要請研修とは…

市町村教育委員会や学校等が主催する研修会のテーマに応じ、県立総合教育センターが指導主事等を指導者として派遣するもの



3 要請研修について

研修テーマ(例)

- ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり
- ・障害のある幼児児童生徒の理解と支援
- ・発達障害のある幼児児童生徒の理解と支援
- ・高等学校の特別支援教育
- ・事例研究(インシデント・プロセス法)
- ・特別支援教育コーディネーターと校内支援体制づくり
- ・教育支援プランA・Bの作成と活用 他

4 総合教育センター ホームページについて



4 総合教育センターホームページ

← 埼玉県立総合教育センターホームページ

ログイン



埼玉県立総合教育センター

Saitama Prefectural Education Center



ホーム

研修

調査研究

教育情報

教育相談

入試情報 ▾

アクセス ▾



埼玉県立総合教育センター

Saitama Prefectural Education Center

4 総合教育センターホームページ



調査研究に関する情報

← 埼玉県立総合教育センターホームページ ログイン

 **埼玉県立総合教育センター**
Saitama Prefectural Education Center



「調査研究」をクリック

ホーム 研修 **調査研究** 教育情報 教育相談 入試情報 アクセス

4 総合教育センターホームページ



調査研究に関する情報

埼玉県立総合教育センターホームページ

ログイン

ホーム

研修

調査研究

教育情報

教育相談 ▾

入試情報 ▾

アクセス ▾

◆ 年度別

◆ 調査研究とは

調査研究・資料一覧



学校教育や社会教育の抱えている課題の改善・解決のために、テーマを設定して、当センターの指導主事が、学校の教員等とチームを作って1年から2年の計画で行っています。

「調査研究・資料一覧」を
クリック

もの

4 総合教育センターホームページ



調査研究に関する情報

埼玉県立総合教育センターホームページ

ログイン

ホーム

研修

調査研究

教育情報

教育相談 ▾

入試情報 ▾

アクセス ▾

◆ 年度別

◆ 調査研究・資料一覧

調査研究・資料一覧 ▾

令和5年度

令和4年度

令和3年度

令和2年度

令和元年度

平成30年度

平成29年度

平成28年度

令和6年度は次のテーマで調査研究を行っています。

- ・新たな教師の学びを共創するための調査研究（2年計画1年目）
- ・教科等横断的な視点に立った授業づくり（2年計画2年目）
- ・特別支援教育コーディネーターの連携と協働に関する調査研究（2年計画2年目）
- ・中学・高校におけるSOSを出す力を身に付ける学習プログラムの作成～不登校の未然防止に向けて～（2年計画2年目）
- ・特別支援学校と農業分野企業・法人をつなぐ「農福連携」推進研修会（2年計画2年目）
- ・「教頭の働き方改革」に資する調査研究（2年計画1年目）
- ・個別最適化な学びの実現に関する調査研究（1年計画1年目）

年度ごとに各担当の研究報告書を掲載

4 総合教育センターホームページ



研究報告書

令和3・4年度

「特別支援教育におけるICT機器の効果的な活用に関する調査研究～教員と子供の味方となる「彩の国みんなのみかたプログラム」の開発～」

研究報告書 第427号



令和4年度 調査研究報告書
特別支援教育担当

特別支援教育における
ICT機器の効果的な活用に関
する調査研究
(2年目/2か年研究)
～教員と子供の味方となる
「彩の国みんなのみかたプログラム」
の開発～

彩の国みんなのみかたプログラム



<https://sites.google.com/st.specc.ed.jp/mikata/>



特別支援教育担当
「マスコットキャラクター」

4 総合教育センターホームページ



研究報告書

平成30年度・令和元年度

「特別支援教育における主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた指導実践に関する調査研究」

研究報告書 第414号



令和元年度調査研究報告書
特別支援教育担当

特別支援教育における
主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた
指導実践に関する調査研究 最終報告



すべては子供の笑顔のために・・・

4 総合教育センターホームページ



研究報告書

平成29年度

「特別支援学級の教育課程編成の
在り方に関する調査研究
特別支援学級ハンドブック」

平成29年度調査研究報告書
特別支援教育担当
「特別支援学級の教育課程編成の在り方に
関する調査研究(1か年研究)」

特別支援学級ハンドブック



4 総合教育センターホームページ



研究報告書

平成27・28年度

「自閉症の児童生徒への指導の
在り方に関する調査研究」



4 総合教育センターホームページ



特別支援教育関係の情報

← 埼玉県立総合教育センターホームページ ログイン

 **埼玉県立総合教育センター**
Saitama Prefectural Education Center



「教育情報」をクリック

ホーム 研修 調査研究 **教育情報** 教育相談 入試情報 ー アクセス ー

4 総合教育センターホームページ



特別支援教育関係の情報

「特別支援教育」を
クリック

埼玉県立総合教育センターホームページ ログイン

ホーム 研修 調査研究 教育情報 教育相談 入試情報 アクセス

◆ 教育情報

教育情報では以下の内容を掲載しています。
左のメニューを選択することで閲覧することができます。

ICT教育

センターが作成した学習用動画やプリント集、ICT活用マニュアル等を掲載した学習支援サイトや、各校種におけるICT教育の実践例をまとめた「GIGAスクール構想」時代のICT活用ガイド等を掲載しています。

特別支援

特別支援教育に活用できる学習動画やプリントをまとめた「学びの準備体操」や、特別支援学級ハンドブック、特別支援教育自作教材ライブラリーなどを掲載しています。

4 総合教育センターホームページ



特別支援教育関係の情報

埼玉県立総合教育センターホームページ ログイン

ホーム 研修 調査研究 教育情報 教育相談 入試情報 アクセス

◆カウンタ
1 5 6 6 9 6

◆メニュー

- ICT教育
- 特別支援教育
- 始めて・初めてネット(入門編)
- 研究・研修ネット(ステップアップ編)
- 教材・教具ネット(実践編)
- つながるガイドネット(すべての方に)

「思いをつなぐ」特別支援教育 きっと！もっと！ネット！
～きっと見つかる！ もっと高まる！ つなが～るネット！～

始めて・初めてネット【入門編】
～これだけはおさえておきたい基礎～

研究・研修ネット【ステップアップ編】
～知識・技能を極めたい方必見～

教材・教具ネット【実践編】
～子供が変わるアイデア満載～

つながるガイドネット【すべての方に】
～知りたい情報につなげる～

教育相談ネット【教員専用】
～お気軽にご相談を！～

参考情報ネット【すべての方に】
～知って得する新情報に今すぐアクセス～

学びの準備体操
～できる！ できる！

ネット子供キャラ
～みんなの思いが未来につながる～

お知らせ

4 総合教育センターホームページ



動画 & プリント

埼玉県立総合教育センターホームページ ログイン

ホーム 研修 調査研究 教育情報 教育相談 入試情報 アクセス

◆カウンタ
1 5 6 6 9 6

◆メニュー
ICT教育
特別支援教育

「思いをつなぐ」特別支援教育 きっと！もっと！ネット！
～きっと見つかる！ もっと高まる！ つなが～るネット！～

初めて・初めてネット【入門編】
～これだけはおさえておきたい基礎～

研究・研修ネット【ステップアップ編】
～知識・技能を極めたい方必見～

教材・教具ネット【実践編】
～子供が変わるアイデア満載～

つなげるガイドネット【すべての方に】
～知りたい情報につなげる～

教育相談ネット【相談活用】
～お気軽にご相談を！～

参考情報ネット【すべての方に】
～知って得する新情報に今すぐアクセス～

つなげるガイドネット (すべてのの方に)

学びの準備体操
～みんなの思いが未来につながる～

お知らせ

「学びの準備体操」を
クリック

4 総合教育センターホームページ



研修資料

埼玉県立総合教育センターホームページ ログイン

ホーム 研修 調査研究 教育情報 教育相談 入試情報 アクセス

「始めて・初めてネット【入門編】」をクリック

「思いをつなぐ」特別支援教育 きっと！もっと！ネット！
～きっと見つかる！ もっと高まる！ つなが～るネット！～

始めて・初めてネット【入門編】
～これだけはおさえておきたい基礎～

研究・研修ネット【ステップアップ編】
～知識・技能を極めたい方必見～

教材・教具ネット【実践編】
～子供が変わるアイデア満載～

つながるガイドネット【すべての方に】
～知りたい情報につなげる～

教育相談ネット【教員専用】
～お気軽にご相談を！～

参考情報ネット【すべての方に】
～知って得する新情報に今すぐアクセス～

学びの準備体操
～できる！～

ネット子供キャラー
～みんなの思いが未来につながる～

お知らせ

4 総合教育センターホームページ



お役立ち資料

「研究・研修ネット
【ステップアップ編】」を
クリック

埼玉県立総合教育センターホームページ ログイン

ホーム 研修 調査研究 教育情報 教育相談 入試情報 アクセス

特別支援教育

- 始めて・初めてネット (入門編)
- 研究・研修ネット (ステップアップ編)**
- 教材・教員ネット (実践編)
- つながるガイドネット (すべての方に)

「をつなぐ」特別支援教育 きっと! もっと! ネット!
きっと見つかる! もっと高まる! つながるネット!~

研究・研修ネット【ステップアップ編】
~知識・技能を極めたい方必見~

教材・教員ネット【実践編】
~子供が変わるアイデア満載~

つながるガイドネット【すべての方に】
~知りたい情報につなげる~

教育相談ネット【教員専用】
~お気軽にご相談を!~

参考情報ネット【すべての方に】
~知って得する新情報に今すぐアクセス~

学びの準備体操
ネット子供キャラ
みんなの思いが未来につながる

4 総合教育センターホームページ



参考資料

埼玉県立総合教育センターホームページ

ホーム 研修 調査研究 教育情報 教育相談 入試情報 アクセス

ログイン

カウンタ
1 5 6 6 9 6

メニュー
ICT教育

「思いをつなぐ」特別支援教育 きっと！もっと！ネット！
～きっと見つかる！ もっと高まる！ つなが～るネット！～

始めて・初めてネット【入門編】
～これだけは覚えておきたい基礎～

研究・研修ネット【ステップアップ編】
～知識・技能を極めたい方必見～

教材・教具ネット【実践編】
～子供が変わるアイデア満載～

参考情報ネット【すべての方に】
～知って得する新情報に今すぐアクセス～

学びの準備体操
～できる！～

ネット子供キャラ
～みんなの思いが未来につながる～

お知らせ

「参考情報ネット【すべての方に】」をクリック

「特別支援教育リーフ」

特別支援教育リーフ
シリーズ

初めて特別支援学級や通級による指導を担当する先生へ
特別支援教育について学ぶ機会がなかなか得られなかった先生へ

まずはここから
こんな子いませんか？
こんな取組、
してみませんか？

特別支援教育リーフは、小・中学校等で初めて特別支援学級や通級による指導を担当する先生、特別支援教育について学ぶ機会がなかなか得られなかった先生に向けて、障害のある児童生徒がそれぞれの学びの場でより良く学び充実した学校生活を送れるようになるためには、どのように取組んでいくと良いか考えていくためのきっかけとなる内容をまとめ、取組のヒントとなる情報を記載しています。

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 (NISE)
情報・支援部
〒239-8585 神奈川県横浜須賀野比5丁目1番1号
電話：046-839-6803（代表）
https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/leaf_series
2022.9

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

幼稚園等、小・中学校、高等学校等で特別支援教育の指導の経験のない又は経験年数の少ない教員に対する特別支援教育の理解啓発・普及を目的としたリーフレット

「特別支援教育リーフ」

各シリーズのコンセプト



対 象：主に特別支援学級の担任（号によっては通常の学級の担任や通級による指導の担当）
ねらい：特別支援教育の経験の浅い教員が、特別支援教育を構成する基本的な事柄を理解する契機とする。



対 象：主に通常の学級の担任
ねらい：通常の学級に在籍する児童生徒に見られる、障害に起因することが気付かれにくい（教師が気付きにくい）状態について理解し、その改善のための具体的な支援を考えていく一助とする。



対 象：通常の学級の担任や特別支援学級の担任（号によって異なる）
ねらい：学習上・生活上の困難さがある児童生徒が、より充実した学校生活を送ることができるよう、実際の授業や指導・支援で活用できる取組や知っておくと良い情報を紹介、提案する。

特別支援教育リーフは、それぞれの号のねらいや主な内容によって、次のようなシリーズ構成で順次刊行します。

- ①「まずはここから」シリーズ
- ②「こんな子いませんか？」シリーズ
- ③「こんな取組、してみませんか？」シリーズ

A3サイズ 見開き4頁の構成

1ページ	表紙
2ページ上部	要旨とポイント
2ページ下部 ～3ページ	この号で取り扱うテーマについて、まず知ってほしいことや気づいてほしいことの説明
4ページ	より深く理解するために役立つ情報



リーフシリーズ



2～3ページは、10～15分程度で読むことができます。
このページだけでも是非、お読み下さい。

ダウンロードはこちらから→

①「Basic(基礎編)」シリーズ
まずはここから

②「Case Studies(事例編)」シリーズ
こんな子いませんか？

③「Advance(発展編)」シリーズ
こんな取組、してみませんか？

現在、20号まで刊行

4 総合教育センターホームページ



啓発事業

埼玉県立総合教育センターホームページ ログイン

ホーム 研修 調査研究 教育情報 教育相談 入試情報 アクセス

◆カウンタ
1 5 6 6 9 6

◆メニュー
ICT教育
特別支援教育

「思いをつなぐ」特別支援教育 きっと！もっと！ネット！
～きっと見つかる！ もっと高まる！ つなが～るネット！～

初めて・初めてネット【入門編】
～これだけはおさえておきたい基礎～

研究・研修ネット【ステップアップ編】
～知識・技能を極めたい方必見～

教材・教具ネット【実践編】
～子供が変わるアイデア満載～

教育相談ネット【教員専用】
～お気軽にご相談を！～

参考情報ネット【すべての方に】
～知って得する新情報に今すぐアクセス～

つながるガイドネット
(すべての方に)

夢ネット子供ギャラリー
～みんなの思いが未来につながる～

つなぐ

埼玉県立総合教育センター
SPEC Saitama Prefectural Education Center

4 総合教育センターホームページ



啓発事業

埼玉県立総合教育センターホームページ ログイン

ホーム 研修 調査研究 教育情報 教育相談 入試情報 アクセス

「教材・教具ネット実践編」をクリック

きっと！もっと！ネット！
つながるネット！～

ICT教育
特別支援教育

- 始めて・初めてネット（入門編）
- 研究・研修ネット（ステップアップ編）
- 教材・教具ネット（実践編）**
- つながるガイドネット（すべての方に）

始めて・初めてネット【入門編】
～これだけはおさえておきたい基礎～

研究・研修ネット【ステップアップ編】
～知識・技能を極めたい方必見～

教材・教具ネット【実践編】
～子供が変わるアイデア満載～

つながるガイドネット【すべての方に】
～知りたい情報につなげる～

教育相談ネット【教員専用】
～お気軽にご相談を！～

参考情報ネット【すべての方に】
～知って得する新情報に今すぐアクセス～

学びの準備体操
ネット子供キャラ
みんなの思いが未来につながる～

お知らせ

5 啓発事業について

5 啓発事業について

特別支援教育自作教材教具 ライブラリー

県内の先生方が工夫された
教材・教具や指導法に関する
アイデアをライブラリー化
して共有

令和5年度応募作品より



「数の視覚的理解」 「12支つながり片パズル」
「ジオボード」 「バーガーメーカー」

特別支援教育 自作教材教具 ライブラリー 作品募集!!



<総合教育センターHP「自作教材教具ライブラリー」>
<https://ecsweb.center.spec.ed.jp/tsk-kyouzai/>

特別支援教育において、一人一人の障害の状態や学習課題にあわせた教材や教具の工夫はとても大切です。県内の多くの先生方が工夫された教材・教具や指導法に関するアイデアをライブラリー化して共有しようという取組が、この『自作教材教具ライブラリー』です。教材・教具の開発に悩んだ時、「目の前の子どもにぴったりな教材のヒントに出会えた」、「そのまま使えそうな教材があった」…というようなライブラリーを目指しています。

<募集内容>
教育上特別な支援を必要とする幼児児童生徒を対象として製作された自作による教材教具

<応募資格>
埼玉県内の国公立幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に勤務する教職員
(個人でもグループでも可)

<応募方法>
応募用紙に必要事項を記入し、教材データや作品の概観が分かる写真を添付して、電子メールにて提出

<募集期間>
6月末～10月末

<担当>
埼玉県立総合教育センター
特別支援教育担当
☎ 048-556-3370
p7412215@pref.saitama.lg.jp

 埼玉県立総合教育センター
Saitama Prefectural Education Center

 埼玉県立総合教育センター
「つばとん」

5 啓発事業について

特別支援教育自作教材教具ライブラリー

- ・ アナログ教材 (画像写真、説明)
- ・ デジタル教材 (画像写真、説明、データファイル等)

ダウンロードして利用できる教材
ライブラリーに！



すべては子供の笑顔のために...



御清聴ありがとうございました

